

ヤマトオサムシ

Carabus yanato (Nakane)

コウチュウ目オサムシ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

局地的な分布を示し、県内における生息地は一地域に限られ、開発の恐れがある。

形態

マヤサンオサムシと似ているが、体長19~22mmで小型である。背面は金銅色をしており、光沢がある。外部形態は安定していて変異はない。

国内分布

中部地方から近畿地方にかけて局地的な分布を示す。

県内分布

白山市（旧河内村）の一区域においてのみ生息し、個体数は比較的多い。

生態

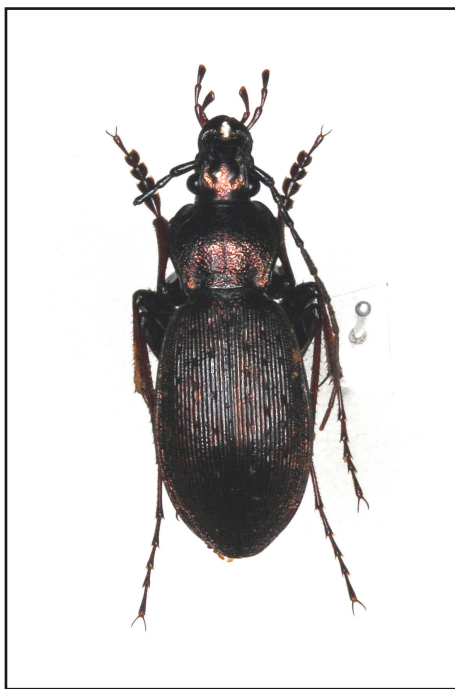
成虫は5月から10月まで見られ8月下旬に新成虫が現れる。昼間は石の下などに潜み、夜間活動し、小動物の死体を食しているものと思われる。

生息地の条件

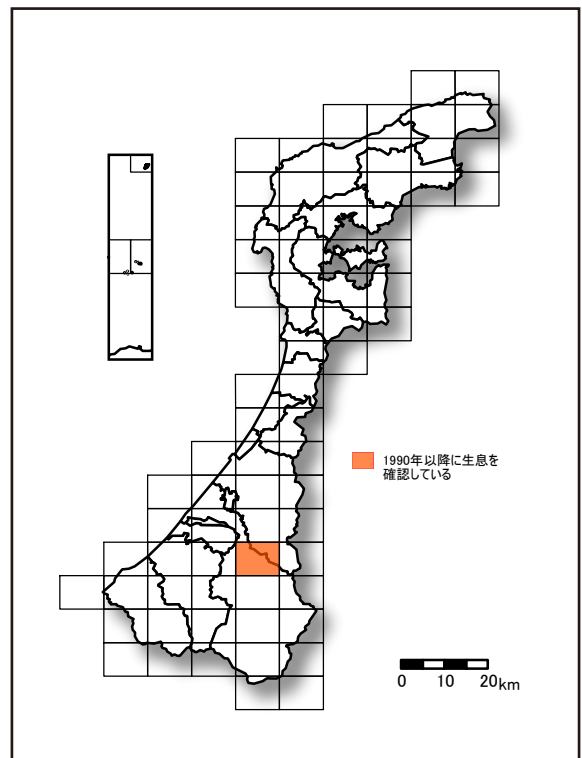
生息地では、杉林に多いように思われるが不明である。

生存の危機

現在のところ、個体数は安定しているが、生息している所が狭い区域なので、大規模な開発が行われれば、絶滅の恐れがあるので、事前に保全策を講ずる必要がある。



標本提供者: 富沢章



県内の分布